TOSHIBA
Leading Innovation

東芝リモコン送信器取扱説明書

保管用

お客様へ

●このたびは東芝照明器具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
●この商品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
●本書は必ず保管してください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

湿度	●このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
改造	●リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。
高温禁止	●温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上、付近等では使用しないでください。火災の原因となります。

■商品の概要

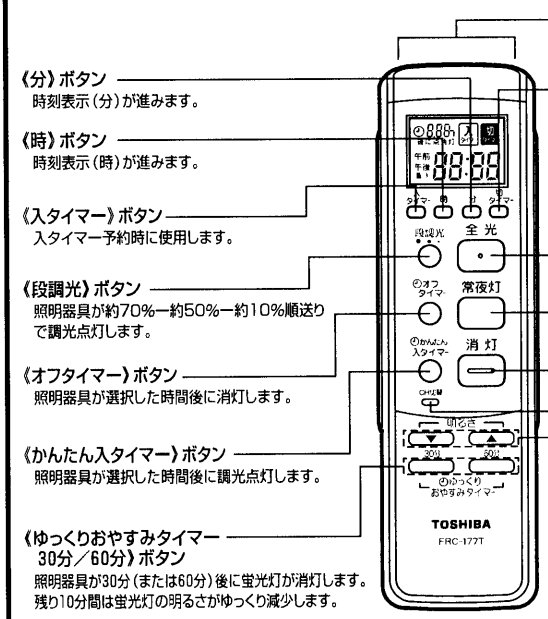
◎全光、調光（明るさ100%～約10%）、常夜灯（明るさ6段階）、消灯の切替がリモコン送信器で操作できます。
◎タイマー予約で自動点灯、自動消灯が可能です。設定した時刻になると、照明器具に信号を送って、調光状態または消灯状態にできます。
・時計機能付です。（時計の精度は月差30秒以内です。）
◎ワンボタン簡易タイマー付きです。オフタイマー、かんたん入タイマーで選択した時間後に消灯状態または点灯状態にできます。

■各部の名前

※このリモコン送信器は、「東芝蛍光灯器具（連続調光リモコンタイプ）」専用です。 連続調光リモコンタイプ以外の場合、使えない機能があります。

リモコン送信器　FRC−177T

※保護シートをはがしてご使用ください。そのままご使用になりますと、リモコンの効きにくい場合があります。



LED送信部
器具操作の信号がでます。

《分》ボタン
時刻表示（分）が進みます。

《時》ボタン
時刻表示（時）が進みます。

《入タイマー》ボタン
入タイマー予約時に使用します。

《段調光》ボタン
照明器具が約70%→約50%→約10%順送りで調光点灯します。

《オフタイマー》ボタン
照明器具が選択した時間後に消灯します。

《かんたん入タイマー》ボタン
照明器具が選択した時間後に調光点灯します。

《ゆっくりおやすみタイマー 30分／60分》ボタン
照明器具が30分（または60分）後に蛍光灯が消灯します。
残り10分間は蛍光灯の明るさがゆっくり減少します。

《切タイマー》ボタン
切タイマー予約時に使用します。

《全光》ボタン
照明器具が全光点灯します。

《常夜灯》ボタン
照明器具が常夜灯点灯します。

《消灯》ボタン
照明器具が約1秒でフェード消灯します。

《CH切替》ボタン
操作する照明器具のチャンネルを選択します。

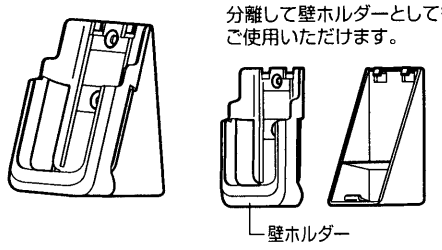
《明るさ▼　▲》ボタン
照明器具の明るさが変わります。
・蛍光灯：100%～約10%
・常夜灯：6段階
の明るさの調整ができます。
※長押しすると連続的に調整できます。
※消灯から▲ボタンを押しても点灯しません。ランプを点灯させてから、明るさを調整してください。

※リモコン本体の前面には保護シート（透明）が貼ってあります。

■リモコン送信器付属品

卓上ホルダー（分離型）

分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



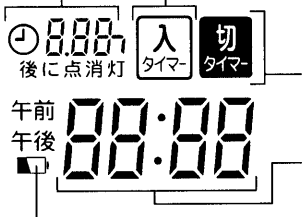
単4乾電池（2本）

※動作確認用です。

取付用木ねじ（2本）

■液晶パネル表示

※説明のため、全部を表示しております。実際にはこの表示にはなりません。



●かんたんタイマー設定
オフタイマーまたはかんたん入タイマー設定時に表示します。

●入タイマー予約表示
入タイマーを予約した場合に表示します。

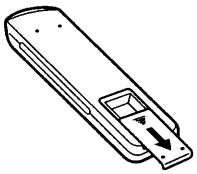
●切タイマー予約表示
切タイマーを予約した場合に表示します。

●時計表示
現在時刻を表示します。
予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

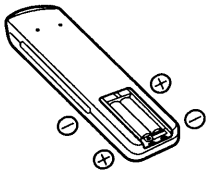
●電池残量表示
電池の残りが少なくなると表示します。
マークが表示されたら、電池を2本とも新しいものに交換してください。
※リモコン機能が正しく動作しません。

■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+−をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。

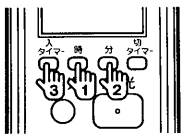


ご 注 意

- ●乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- ●長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

■時計の合わせ方　注意）時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。



＜電池投入時＞

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

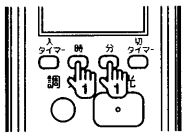
①《時》ボタンで時刻を合わせます。

《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

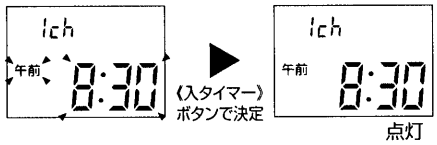
②《分》ボタンで分を合わせます。

《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

③《入タイマー》ボタンを押して決定します。



例）午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。

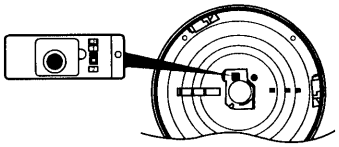


＜時刻を変更するとき＞

①《時》＋《分》ボタンを同時に3秒間押します
②「電池投入時」の①〜③と同じ手順で時刻を登録します。

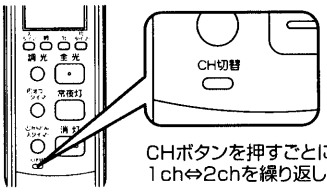
■チャンネルの合わせ方

①照明器具のセードを外します。
例:1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。



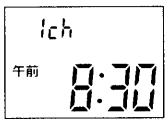
※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。



CHボタンを押すごとに
1ch⇔2chを繰り返します。

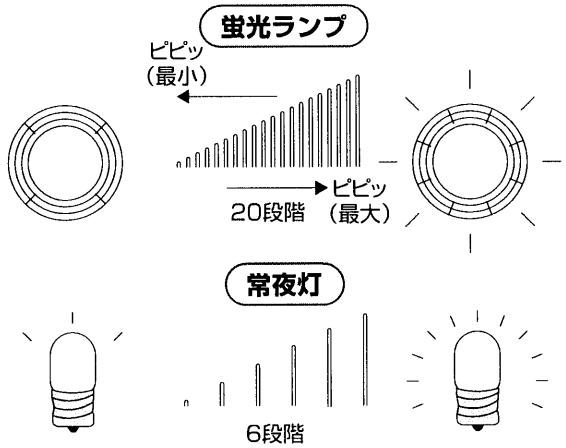
液晶画面に
「1ch」が表示



※出荷時は1chに設定してあります。

■明るさの調整について

リモコン送信器の《明るさ▼▲》ボタンで通常ランプおよび常夜灯の明るさを変えることができます。

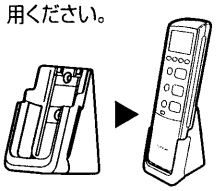


- ●明るさ▼▲ボタン操作で100%〜約10%の連続調光ができます。
- ●約5%単位で明るさが変化します。
- ●段調光ボタンで順送り（約70%・約50%・約10%）調光も可能です。

■リモコンホルダーのご使用方法

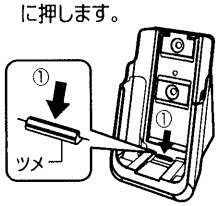
＜卓上ホルダー＞

卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

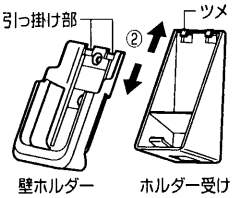


卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを⬇の方向に押します。

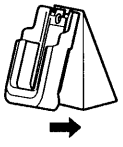


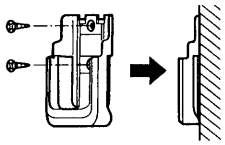
②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



〈卓上ホルダーとしてご使用になる場合〉
（組み立て方）

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて➡の方向に押すと卓上ホルダーになります。





ご 注 意

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

■入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を明るさ約70%で「調光点灯」させることができます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。（「時計の合わせ方」参照）

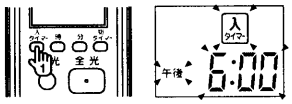
例）午後7:30に入タイマーを予約する場合。

操作ボタン　液晶画面

1、《入タイマー》ボタンを押します。

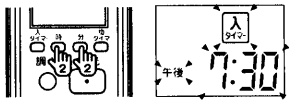
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後6:00に設定してあります。



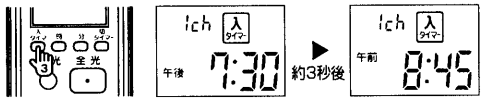
2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、《入タイマー》ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 入タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



■切タイマーを予約する

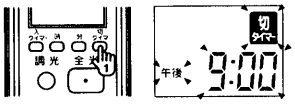
例）午後11:30に切タイマーを予約する場合。

操作ボタン　液晶画面

1、《切タイマー》ボタンを押します。

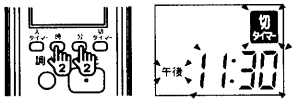
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。



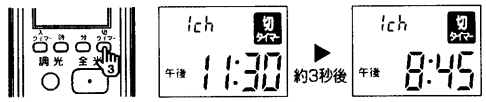
2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、《切タイマー》ボタン を押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 切タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



■タイマーの予約内容を確認する

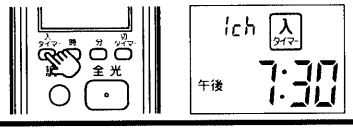
例）「入タイマー」の予約時刻を確認する。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを1回押します。

現在の予約時刻を表示します。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）

※切タイマーの予約時刻の確認も 切タイマー 表示されている状態で《切タイマー》ボタンを1回押します。



■タイマー予約を解除する

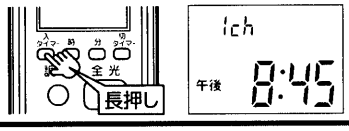
例）「入タイマー」の予約を解除する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

入タイマー 表示が消え現在時刻表示に戻ります。

※切タイマーの予約を解除する場合も 切タイマー 表示されている状態で《切タイマー》ボタンを長押しします。



■タイマー予約中の設定時刻を変更する

例）「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

②「入タイマーを予約する」1～3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
※切タイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

■ゆっくりおやすみタイマー

●ワンボタン操作で30分後、または60分後に蛍光灯の自動消灯ができます。また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。

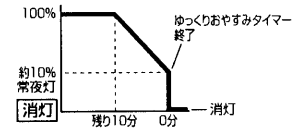
「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。
「60分」ボタンを押すと器具がピピッと3回鳴ります。

●チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

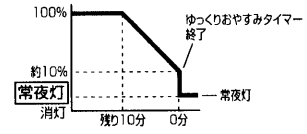
・CH1の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「消灯」します。

・CH2の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「常夜灯」が点灯します。

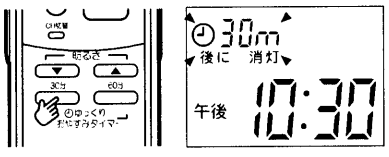
CH1の場合



CH2の場合



※「全光」「段調光」「常夜灯」「消灯」のいづれかを操作すると解除されます。
※約10%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
※常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後（または60分後）に消灯します。（明るさはゆっくり減少しません。）



ゆっくりおやすみタイマー作動中は液晶のタイムカウントが点滅します。
※CH1とCH2でそれぞれタイムカウント表示ができます。
チャンネルを切り替えて表示させた場合は、約3秒後にタイムカウント表示に戻ります。

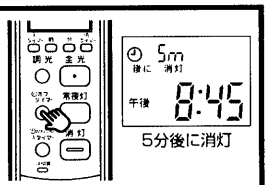
■オフタイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

①《オフタイマー》ボタンを押します。

オフタイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。

5→10→15→30→60分後に消灯
ch表示（キャンセル）



→：ボタン操作

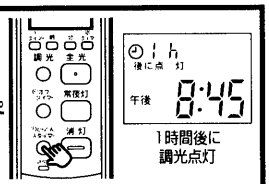
■かんたん入タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が明るさ約70%で「調光点灯」します。

①《かんたん入タイマー》ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。

1→2→3→6→9→12時間後に点灯
ch表示（キャンセル）



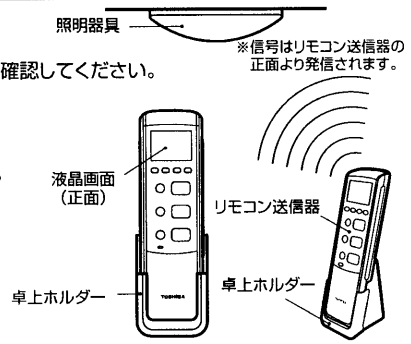
→：ボタン操作

※《オフタイマー》と《かんたん入タイマー》は併用できません。

※ゆっくりおやすみタイマー動作中は、《オフタイマー》と《かんたん入タイマー》は操作できません。
操作する場合は、ゆっくりおやすみタイマーを解除してください。

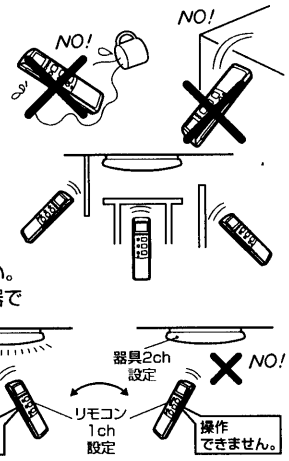
■タイマー予約における使用上のご注意

●壁スイッチは必ずONにしてください。
●リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
●卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
●器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
●天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
●卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
●卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
●卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
●直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
●ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。



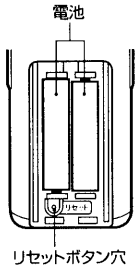
■リモコン使用上のご注意

●リモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどにはご使用できません。
●リモコン送信器は、照明器具の壁スイッチがONのときのみ切替えできます。
●リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
●リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、
その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンをおしてください。
●天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいて
ください。又、電池が消耗していると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
●照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用するとリモコンが正常に
作動しないときがあります。
●点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。2台の照明器具を1つのリモコン送信器で
操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを合わせて操作してください。
●冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信器での連続調光「明るさ▼▲」ボタンでの
長押し操作がききにくい場合があります。その場合は、「明るさ▼▲」ボタンを長押しせず、
1回ずつ押しながら調光してください。
●電源の停電などで明るさが切替わったり、切替えができなくなったりする場合があります。
その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。
●リモコン送信器の「消灯」ボタンを押すと、照明器具が約1秒でフェード消灯します。
フェード消灯機能が働いている途中(約1秒間)に、再度「消灯」ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。
この場合は、リモコン送信器の「全光」ボタンもしくは「常夜灯」ボタンを押してから、再度「消灯」ボタンを押してください。



■故障かな?と思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光ランプが切れている。	蛍光ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
	消灯状態で明るさ▲を押している	消灯状態からは点灯しません。いったん蛍光灯を点灯させてから操作してください。
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合ってない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。
オフタイマー、かんたん入タイマーが設定できない。	ゆっくりやすみタイマーが設定されている。	ゆっくりやすみタイマーを解除してください。
ゆっくりおやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。	CH2でゆっくりおやすみタイマーが操作されている。	リモコンと本体のチャンネルをCH1に切り替えて操作してください。



修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048

受付時間：365日　9：00～20：00
携帯電話・PHSなど　046-861-6485（通話料：有料）
FAX　0570-000-661（通話料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　住空間事業部　〒237-8510　神奈川県横須賀市船越町1-201-1
電話(046)862-2103
FAX(046)861-8776